

四年生では、下田小学校のもったいないところを総合の学習で改善し、ビオトープにしたいと思いました。そこで四年一組は、四年二組から四組が作ったビオトープのことを紹介し、大切にして欲しい思いを伝えるための新聞を作りました。今いる生き物の種類や、困っているイタズラ、それぞれの組の想いなどたくさんの記事があります。ぜひ、読んでみてください。

〈四年二組のビオトープ！〉

今、四年二組では、ただのどろ沼だった水槽をビオトープに改築しています。
〈イタズラ発生〉

そこには、イタズラをされています。そのイタズラは、砂を入れられたり、石やごみを入れられています。このようなイタズラをすると、ビオトープにいる生き物がくらしずらくなってしまいますので、こんなイタズラはやめてほしいと思っています。

〈生き物たちのすみか〉

そこにいる生き物は、メダカの白と黒、タニシ、これから新しい魚を入れる予定だそうです。

〈大切にして欲しい気持ち〉

大切にしてほしいのは、頑張って作ったから大切にしてほしい、工事の人も協力してくれたからと言っていました。大切に思っているから、引き継ぎもしてほしいからと言っていました。四年二組に、インタビューをした結果、大切にしてほしいという想いが伝わりました。これからどうしてほしいか聞くと、さっきも言った引き継ぎをしてほしいと言っていました。こういう思いを聞いて私は、みんなにも協力してほしいなと思いました。

四年三組のビオトープ

今、四年三組では砂場の奥にある、雑草がぼうぼうだった所をビオトープに改築しています。そのビオトープについての事を、三組の人に聞きました。

ワクワク感じる身近な自然

整備した結果、生き物は増えてきています。最初、生き物は蟻くらいいなかったけど、今では虫は蟻や蝶、幼虫などもいて、虫以外ではムカデなどもいるそうです。この五種類だけでなく、最初の種類よりもとても豊かになってきています。

そして目的は、みんながワクワク楽しめるビオトープを作りたいと言っていました。まだ完成はしてないけど、今のところ四ヶ月ほど、そして完成までの予定として五、六ヶ月かかるそうです。

このビオトープで見てほしいと言っていたところは、先程言った、「みんながワクワク楽しめるビオトープ」。そしてもう一つ、最近植えた百八の草花の種」があり、成長したら色々な植物が見れるそうです。

これほどの時間を使い、こんなにこだわったビオトープ。完成がとても楽しみです。

みんなで守るべき自然

でも、二組のようにイタズラもあるかもしれません。まだみんなに入っていないよう公開してないからありません。しかし、これからイタズラがあるかも知れず、三組の人たちは「自然はみんなが大切にすべきものだから、ビオトープという自然を大切にしたい。」と言っていました。三組のこのような思いを聞いて、「自然が減っている今、「ビオトープ」という自然は、生き物が共存するために必要なもの」と改めて思いました。

下田庭園リニューアル！

今、四年四組では、ボロボロだった下田庭園に生き物が生き生きと共存する場所「ビオトープ」にしています。

四年四組のビオトープの秘密

インタビューをした結果、こんなことが分かりました。生き物の種類は、カマキリ、バッタ、ダンゴムシ、カブトムシ、カブトムシの幼虫の5種類いれるそうです。最初より、生き物がふえて豊かになっています。

ビオトープへの全ての思い

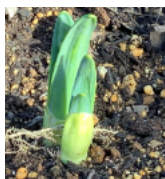
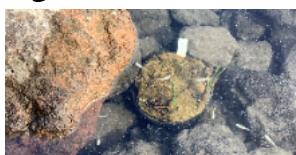
四年四組のビオトープへの思いは、緑道みたいに生き物がたくさん生きて欲しい事だそうです。他にも、「自然をキープしながら楽しんでほしい」とのことでした。

記者の考え

私が、四年四組にインタビューして思ったことが2つあります。

一つ目は、下田庭園を再び改築し、ビオトープにすることは良い事だと思います。理由は、また下田に緑が増えるし生き物がたくさんいると気持ちがあがります。

二つ目は、作った時間についてです。十一時間もかけて作るにおどろきました。「そんなにかけるんだ」と感じました。



下田庭園の改築をしている四年四組

